

「汚染米流通」で売り上げ減 和菓子店盛り上げよう

住民らが試食会

試食会で草餅をほおぼる市民ら―葛城市新庄の菓匠庵おのえで



地元産餅米で安全PR

葛城

米卸売加工会社「三笠フーズ」(大阪府北区)の汚染米販売問題で、流通先と公表され、注目のキャンセルが相次いでいる葛城市新庄の和菓子店「菓匠庵 おのえ」を盛り上げようと、地元住民ら4人が協力し、試食会を開いた。店主の尾上さん「ありがたい」

米卸売加工会社「三笠フーズ」(大阪府北区)の汚染米販売問題で、流通先と公表され、注目のキャンセルが相次いでいる葛城市新庄の和菓子店「菓匠庵 おのえ」を盛り上げようと、地元住民ら4人が協力し、試食会を開いた。店主の尾上さん「ありがたい」

た。店主の尾上碩典さん(61)は「例年は彼岸の入りで売り上げが伸びるが、今回は半分以下になった。試食会を開いてもらいたい」と感謝している。

同店は創業60年。農水省の調べで、昨年12月と今年1月の2回、汚染米が混入した可能性がある餅粉を、和菓子原料の納入業者から約40キロ仕入れた。餅粉から残留農薬は検出されなかった。

【山本和良】